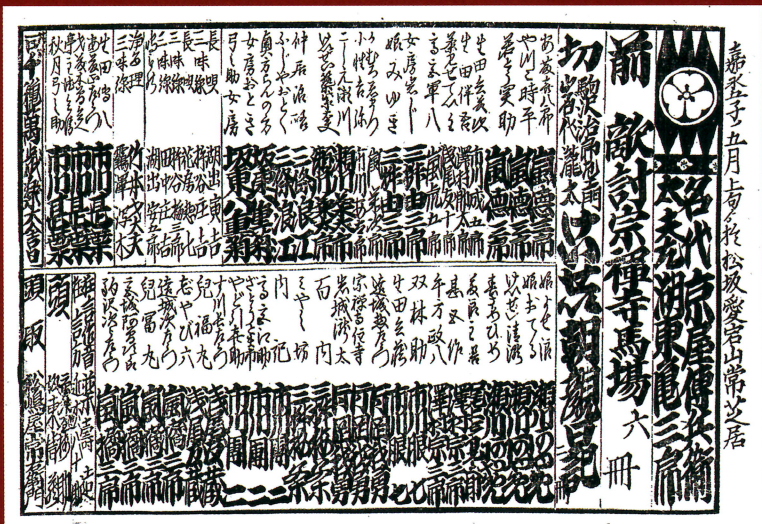


旧小津清左衛門家

●「番付の世界」

令和3年1月14日(木)～4月4日(日)

現今、世上では人々の関心を惹くあらゆるランキングが紹介されています。江戸時代においても「番付」として庶民の間で親しまれていました。様々な番付を通して当時の松阪の世相をご紹介します。



(愛宕山芝居番付)



(江戸大商人持丸長者初編)

三重県松阪市本町 2195 番地 / TEL 0598-21-4331

●「御城番屋敷と苗秀社」

令和2年12月9日(水)～同3年4月18日(日)

文久3年(1863)建造の御城番屋敷(国重要文化財)は、松坂城を警護するため、紀州藩士20人とその家族が住んだ武家屋敷です。明治になると元松坂御城番の人々は「苗秀社」を創設し、今なお維持管理を行っています。苗秀社に残る資料を中心として、松坂御城番の来歴と苗秀社の歩みをご紹介します。

原田二郎旧宅



(御城番屋敷)



(三つ葉葵紋入広蓋)

※令和2年12月15日から令和3年2月14日までの間、まつさか手作り甲冑愛好会が作製した甲冑を展示します。

三重県松阪市殿町 1290 番地
TEL 0598-23-1656